

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

エペソ人への手紙一章二三節

## 2016(28)年 週 報

6月12日

「キリストを畏れ尊ぶ」

第2聖日

第3459号

聖  
言

いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストのなによって父なる神に感謝しなさい。キリストを恐れ尊んで、互いに従いなさい。

エペソ5:20, 21

主の弟子となる⑧

第一課 福音のメッセージ  
この箇所からはつきり言える事は何でしょうか。メッセージは明確です。すなわち、イエスは生けるものすべての裁き主であり、信じる全ての人の罪が赦されるという事です。信じることで神の聖霊が与えられます。次にバプテスマを受ける必要があります。バプテスマは信じて者がキリストおよび信じる者たちの共同体である教会に仲間入りするというしるしです。第二課と第三課でバプテスマと私たちの生活における聖霊の働きについて取り上げます。  
(CIBTE主の弟子より)  
この群れの今後は憂い、いろんな所から、助言をいただいています。聖書の方法と創立者紺本薫牧師の導きである路傍伝道と戸別開拓訪問を最優先にするのが、群れの生きる道であると示され、今週から数名の心ある方々と教会の近くから伝道を開始しました。初めて訪問した所の夫人はキリスト主義の大阪の梅花学園の理事長の娘でした。また理髪店の主人はビラを渡した所、店の客が待っているテーブルにおいてくれました。ある牧師は初めてのとこのほうが行きやすいといってくれました。確かに、集会に来られていない信者を訪問するほうが難しいかも知れませんが、炎天下に戸別をしているのは、世界のキリスト教界でそれだけの教会がしているのかと考えるとき、私たちのしている伝道をイエス様は固唾を呑んで祈ってくださいとおられるのではないかと思っています。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号01170-3-20374

<http://jchec.org/>

[minoru\\_yamamoto@hotmail.co.jp](mailto:minoru_yamamoto@hotmail.co.jp) メール [m7-inoru@ezweb.ne.jp](mailto:m7-inoru@ezweb.ne.jp)

二〇一六年六月五日午前一〇時

四五周パラダイス礼拝 山本牧師

「神様の「神の前では千年は一日のよう」

「主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。」(第二ペテロ三ノ八)

### 祈り

今日は四五週の召天記念礼拝です。あいにく、入梅になってしまいました。午後の納骨堂の記念会は天候を支えてくださるようお願いいたします。そして、先に召された天国の聖徒とともに、地上にある私たちも心を合わせて神様を心から礼拝をささげることができるようをお願いします。

#### 一、時間の感覚

神様は時間を創造されたお方です。時間は一定とかんがえるが、アインシュタインは時間が長くなったり、短くなったりすることを証明したのです。難しいことはわからなくても下手な説教は聞いている人も、しゃべる人も、長く感じる。しかし、感動する説教は時間がたつのが早い。ということで、同じ時間でも長くなったり、短くなったりします。

#### 一、はびこる偽教師

今日の話はペテロが書いた手紙です。それは当時の教会に偽預言者や偽教師、罪を犯した天使たち、不敬虔な者、偽キリストが入り込み、間違った教えを語り、遊興に走り、再臨は既に起きたと言ったり、反対に昔も今も何も変わっていないと言ったり、再臨を否定したりして信者を信仰から遠ざけ、墮落へ落としてしまおうとしていた。これは二千年前の教会のことではなく、現代の教会の姿でもあります。罪を恐れずない。罪に無感覚、麻痺してしまっています。

二、神をあなどる時代。

水からできた古い世は性的な罪が蔓延してノアと家族を残して他は大洪水で滅ばされた。

今の天と地はおなじみ言葉によって保たれ、不敬虔なものでもさばきと滅びの日まで保たれています。神様がすぐに裁きをくださらないので、彼らは神を馬鹿にして、悪の限りを尽くしています。人を人と思わず、平気で嘘を言い、平気で人を騙し、平気で人を殺しています。

三、主の御前では、一日は千年のようである。

心ある人は、悪の支配する世界をみて、何故神様は悪人を野放しにしているのだ。と言う。しかし、「まことに、あなたの大庭にいる一日は千日にまざります。私は悪の天幕にすむよりはむしろ神の宮の門口にたちたいのです。」(詩篇三四ノ一四) 神を信頼して、再臨を待ち望まねばならない。神様は遅いのでなく、忍耐をしておられるのです。罪を悔い改め、イエス様のもとにたち帰るのを今か今かと期待している。長いと思う人生。振り返って見ると、瞬く間です。私たちも聖霊に満たされ、神様の愛に燃やされ、神様を喜ばせるために集会に励み、また、愛のわざに励み、御言葉に親しみ、充実している。しかし、神様から離れ、罪の生活を続けるなら、虚しい、空虚な砂のかむような毎日であり、一日が千年のような長さを感じるのです。しかし神と共に歩むならあつという間にすぎるほど充実した日々になるのです。

六月五日午後二時 四五周合同召天記念会 山本牧師

「良い羊飼いであるイエス様」

「主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れません。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。」(詩篇三ノ三、四)

一、良い羊飼いいエス様

日本では羊は動物園で見るとぐらいい、あまりみかけません。でもイスラエルの国では自動車以上にどこでも羊がいきました。羊は集団で行動します。なぜなら、好奇心が強い羊はすぐに迷子になり、野獣に食べられるからです。お友達や家族と一緒にいて互いに安全を保つとともに、いつも羊を守る飼いが世話をしていたのです。

二、良い羊飼いは羊を命がけで守られる

良い羊飼いと悪い羊飼いの見分け方は、狼が来たとき、悪い羊飼いは自分の命を救うために、羊を残して自分は逃げます。良い羊飼いは羊を逃がして、自分は狼と闘います。イエス様は良い羊飼いでした。人間を罪の力である悪魔から守ってくださいます。

三、死の陰の谷を歩むときも羊を守ってください

(四節) 「たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわいをおそれませんから。あなたの鞭とあなたの杖、それが私の慰めです。」谷は怖い所です。滑り落ちて死ぬ人もいます。人生とは死の陰の谷を歩むようなものです。災害や交通事故、テロ、いつ何時災難が襲いかかるかもしれません。イエス様は毎日の平凡な生活に守りを与えると共に、一生で1回あるかないかというようなときにも守ってくださいます。鞭をもって悪魔の誘惑を防いでくださいます。イエス様の鞭は悪魔の頭を砕いてくださいました。それはご自分が鞭打たれ、裸にされ、十字架につけられることにより、罪を犯した人間を死より救い出してくださいました。また杖を持ってくださいました。羊飼いの杖は先が鉤のようになって、羊の首にかけて引き上げるのです。イエス様は御言葉により私たちを命に導いてくださいます。五、羊はイエス様の御言葉をいただく人は一番強い人。

そこで、大切なのは神様のお言葉を信じて従うことです。巧妙に悪に誘い込む悪魔に対して、逃れる道は神様のお言葉を覚え、義の道に引き返すことです。大人も子供も電車でも歩く時でも車を運転していてもスマートフォンを見えています。楽しいかも知れませんが、本当の命を持つこと、正しい道を歩む力はあたえられません。なぜなら、それがないと生きられないのです。麻薬のようなものです。恐れから勝てません。しかし、神様の御言葉は、行き詰った時に、慰めと生きる勇気を与えてくれます。正しい判断と行動をおこなうことができるのです。だれでも、強く、賢く、綺麗に、幸福を願います。人間を羊飼いのように守ってくださいます。イエス様はそれをごとく与您てくださいます。

二〇一六年六月八日午後七時 祈禱会 山本牧師

「神の助けを求める祈り」(ダニエル連講第二二回)

「あなたのために、あなたの聖なる都については、七十週が定められている。それは、そむきをやめさせ、罪を終わらせ、咎を贖い、永遠の義をもたらし、幻と預言とを確証し、至聖所に油を注ぐためである。」(ダニエル九ノ二四)

一、そむきをやめさせ、二、罪を終わらせ、三、咎を贖い、四、永遠の義をもたらし、五、幻と預言とを確証し、六、至聖所に油を注ぐためである。七十週または七十年はダニエル書の重要なことばである。バビロン捕囚の解放の時、またエルサレム神殿で偶像崇拜をさせたアンテイオコス・エピファネスの預言において七十週は重要である。さらに七十週を六二週、七週、一週に分割し未来の歴史を預言している。ここで重要なのは時を確定することなく、終末において、救い主がお出でになられる行われた二四節の六の働きを知ることである